

前号に続いて

有田市コミュニティ・スクールだより

地域とつながる

各校の活動を紹介します

保田中学校

9月の日曜日に行われた「第35回保田・野地区綱引き大会」。



今年、中学校から3年生有志が参加。中学生のがんばりもあって、大会は大変盛り上がりました。中学生によるステキな地域貢献となりました。たくさんの方々からの熱い応援はきっと心に残ることでしょう。

保田小学校



11月、地域の方とともに防災の視点で「まちなか探検」を行いました。名付けて「BOSAIプロジェクト大作戦」。6年生の防災学習の一環です。この探検で学んだことを今後の学習に生かしていきます。大人も子供も新たな発見がたくさんあり、実りの多い学習となりました。

宮原小学校





例年、文化福祉センターの花壇の花植えを行っています。呼びかけに応じた有志が、放課後、センターの館長さんに教えてもらいながら一緒に作業します。植え替えもあるので、活動は年に2回。文化福祉センターの前を通る時、この記事を出ししてもらえたら嬉しいです。



11月、6年生が企画・運営する「笑顔あふれる子供カフェ」。今年で7年目。社会福祉協議会のスタッフの方や関西大学の学生さんも一緒に活動してくれます。2日間で地域内外から650名余りの方が来場。新たな人との出会い、新たな学びの場となりました。冒頭の名称どおり、会場（有田市福祉館なごみ）にはたくさんの笑顔があふれていました。

糸我小学校



糸我小学校の「花笠音頭」は、30年以上も続いているため、大人も子供も知っています。学校では、毎年、高学年が低学年に教えるそうです。夏祭りや運動会で、子供と保護者、地域の方々が一緒になって楽しめます。糸我地区の大切な伝統です。



文成中学校

9月、宮原地区交流協議会主催「みんなで防災授業」で、中学生（全校）と小学校高学年の子供たちが防災について学びました。専門家の方やボランティアで活動されている方などに、災害時に役立つ知恵や心得などを教えてもらいました。保護者や地域の方も見学に来て、一緒に防災について考えるよい機会となりました。